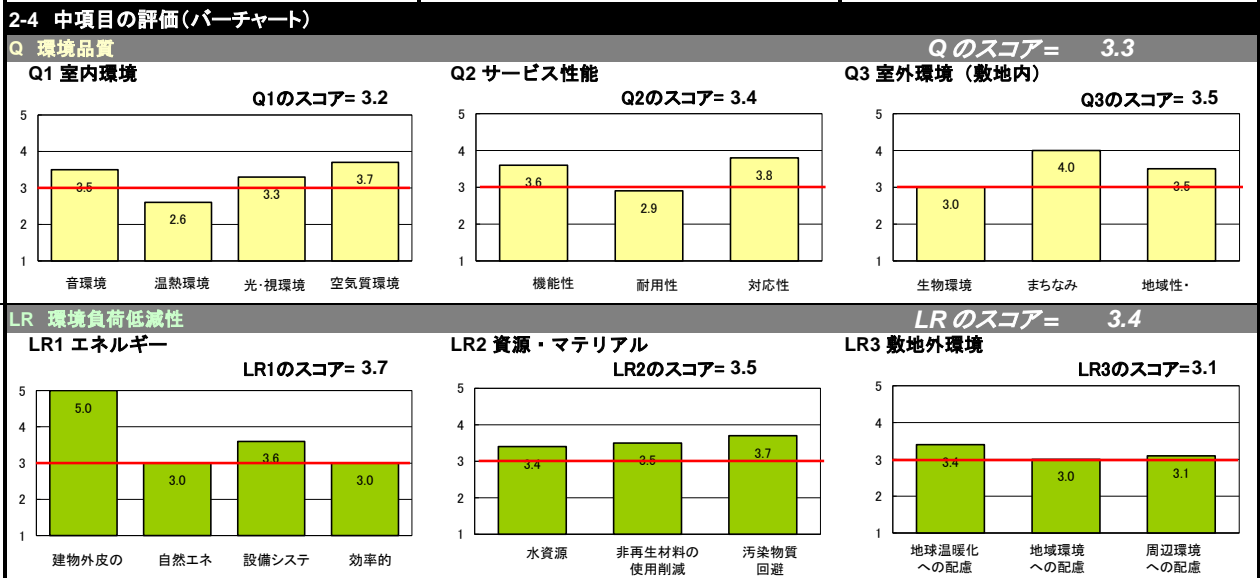
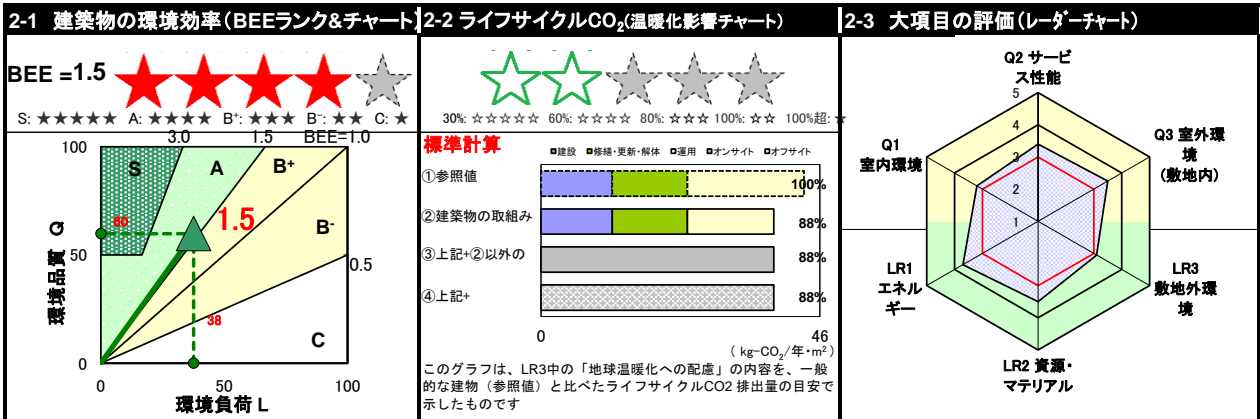


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 鎌倉女子大学岩瀬キャンパス中等部・高等部 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 鎌倉市岩瀬字上土腐982番3の一部 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準工業地域 | 平均居住人員 | 1,150 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 3,000 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年7月 予定 | 評価の実施日 | 2019年12月9日 |
| 敷地面積 | 9,741 m ² | 作成者 | 清水建設(株)一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 3,938 m ² | 確認日 | 2019年12月9日 |
| 延床面積 | 11,267 m ² | 確認者 | 清水建設(株)一級建築士事務所 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|--|
| <p>総合</p> <p>豊かな自然環境の中で多彩な教育内容によって、生徒が「豊かな人間関係」「確かな学力」を身に着け、「なりたい自分」を見つけることができる学校の創設をコンセプトとしている。中庭を中心に教室をレイアウトし、図書館やラングエージという自ら学ぶスペースを校舎の中心に置き、自然採光、自然通風を積極的に取り入れることで、明るく快適で学ぶことが楽しくなる学習環境の確立を目指している。</p> | | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>屋光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。</p> | <p>その他</p> <p>特になし</p> |
| <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。</p> | <p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水栓に加えて節水便器も採用している。断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。また、リサイクル材を採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。</p> |
| <p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率を88%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。</p> | | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される